

第68回企画展

生活・生業と木の製品

～ 木 の 容 器 ～



平成28年4月10日(日)～平成28年6月24日(金)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

日本文化は木の文化といわれるように、私たち日本人は、知恵を働かせて、樹木を衣食住や生業分野で活用するとともに、生活を豊かにするための用具を木材で作り、使いこなしてきました。

その長い歴史と伝統技術は、現存する世界最古の木造建築物として知られる奈良の寺院や、全国各地に伝承されている木工品や民芸品等に見ることができます。

一方で、昔の生活や生業の場で使われていた木製品は、時代とともに、金属や合成樹脂製品などに置き換えることが可能となり、貴重な存在となってきました。

企画展では、当博物館に収蔵されている昭和の中頃まで使われてきた木の容器を紹介しながら、先人の知恵と技を学ぶ場とします。



食器箱と椀・皿



こね鉢（木鉢・しめし鉢）



ちょうすいばち
手洗鉢

岩手県立農業ふれあい公園
農 業 科 学 博 物 館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直近の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台